[SG2022-1]データ同化の数理と応用:
理論モデルとデータをつなぐデータサイエンス

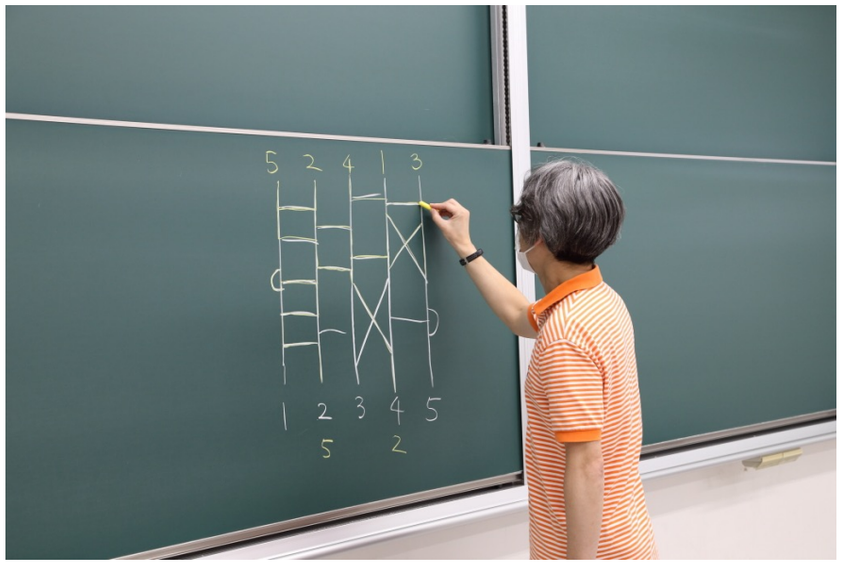
データ同化は，現象の数理モデルのシミュレーショ ン結果に本質的に含まれる予測誤差を観測データに よって補正することで，予測力を向上させる手法で す.
本SGではデータ同化の基礎と応用について講義 と実習を軸とした年間の活動を行いました.（講義型SG）

実施要領

登録について:
「データ同化A」の出席者は自動的に登録としますが，それ意外でも希望者（後期に「データ同化B」を受講予定など理由は任意）も登録可能

講義: 火曜日3限目
　データ同化A（前期）　データ同化B（後期）
å

メリット:
単位認定（前期2単位・後期2単位）
理研・京大データ同化研究会への派遣
理研R-CCSの研究活動を知る機会を得る.



担当教員: 三好建正（理化学研究所） 大塚成徳（理化学研究所） 坂上貴之（数学・数理解析専攻） 宮崎真一（地球惑星科学専攻）